

防災分野のデータ流通促進のための調査検討業務

新総合防災情報システムの 活用促進・業務改善にむけた調査

令和7年3月10日

1. 今年度の調査検討方針（概要）

第1回WG検討会で提示

経緯・概要

- 令和6年4月に新総合防災情報システム（SOBO-WEB）の運用を開始した。
- 今後の、新総合防災情報システムの利用促進を通じた、災害対応機関での災害対応業務の改善のため、平時の訓練の高度化等にもむけた調査検討を行う。

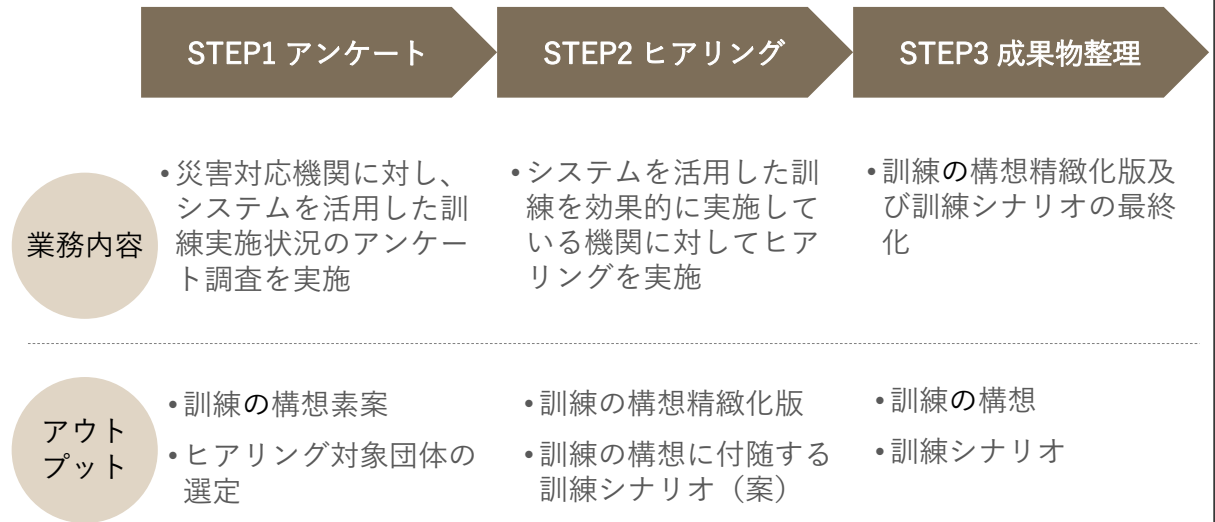
アウトプット

- 災害対応機関における、防災情報システム等を利用した本部レベルでの訓練の実施状況
- 新総合防災情報システムを利用した、災害対策本部レベル（特に、国の現地対策本部が設置される都道府県庁レベル）での図上訓練の構想（状況設定、意思決定事項、活用情報等の概要）

検討方針

- 国、地方自治体、指定公共機関に対し、現状の、各機関の防災情報システム等を利用した平時の災害対策本部運営訓練等の実施状況を、各機関への調査により把握
- 調査は、全機関への悉皆アンケート調査と、一部機関へのヒアリング調査を実施
- 調査結果を踏まえ、新総合防災情報システムの利用により、災害対策本部レベルでの意思決定に資する訓練手法・内容等の構想を検討・整理する。

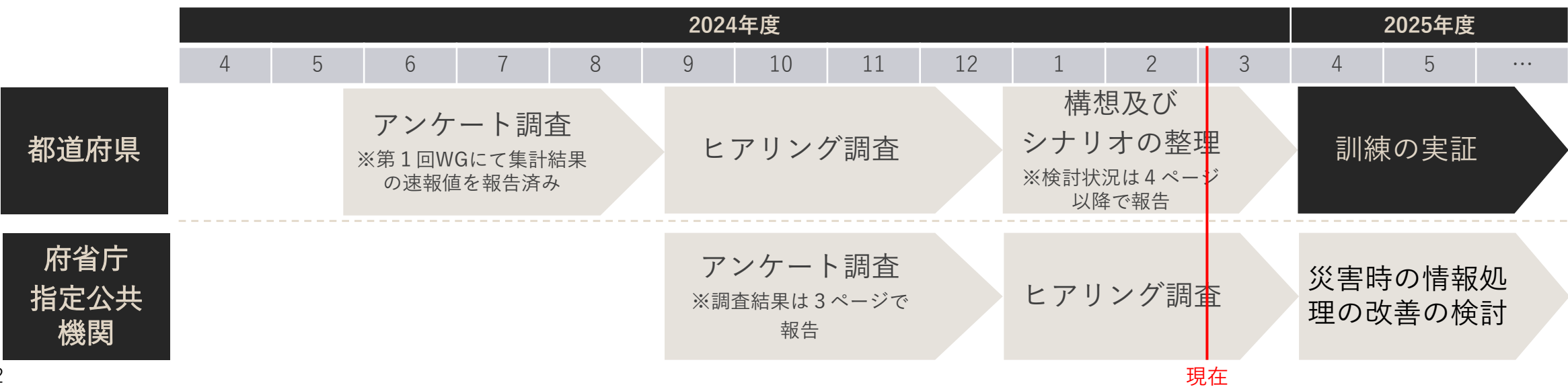
検討手順（案）



2. 今年度の検討状況及び今後の予定

- データ流通促進による、災害対応機関における情報処理（状況把握や対応方針の判断等）の改善の実証・促進のため、新総合防災情報システムによるデータ共有等を含む訓練構想等の検討を行っている。
- 今年度、まず各災害対応機関における、防災情報システムの導入や訓練での利用状況等を把握するため災害対応機関へのアンケート調査及びヒアリング調査を行った。
- 調査結果にもとづき、政府の現地対策本部が設置される都道府県庁において新総合防災情報システムを活用し、情報を取得し意思決定を行う訓練構想等の検討を行っている。新総合防災情報システムの活用形態として、次のいずれかを想定している。
 - ✓ 新総合防災情報システムのWeb画面でデータ閲覧
 - ✓ 都道府県システムで新総合防災情報システムからデータを取得し閲覧
- 次年度に、今年度の整理結果にもとづき、都道府県レベルにおける新総合防災情報システムによるデータ共有等による情報処理等の改善を実証する机上訓練（TTX）の実施を目指す。

今年度の検討状況及び今後の予定



3. アンケート調査の結果

(1) 都道府県（※前回報告済み）

- 都道府県（47団体）へのアンケート調査を行った。（回答率は約9割）
- 全庁的な防災情報システムを災害対策本部運営訓練で利用している都道府県は約9割に及ぶものの、システムの利用に重点を置いた訓練・研修の実施率はさほど高くはない（約4割）。

(2) 府省庁及び指定公共機関

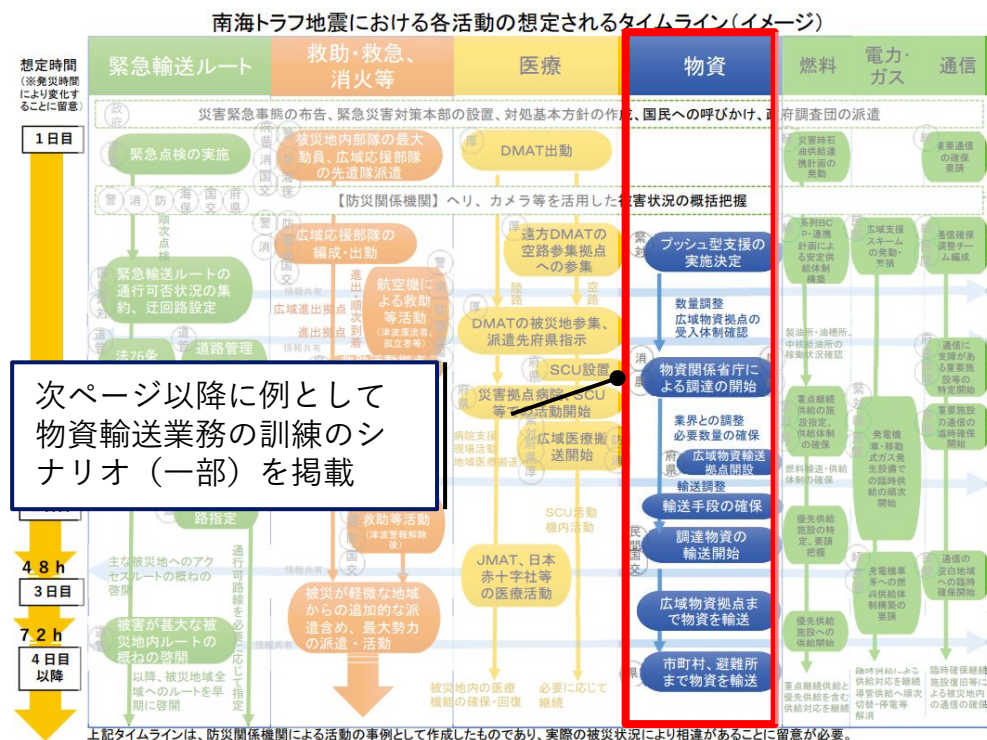
- 府省庁及び指定公共機関（133団体）へのアンケート調査を行った。（回答率は約6割）
 - 幅広い災害情報を収集共有する防災情報システムを導入している団体はさほど多くはない（約4割）。
 - 当該システムを用いて、全社規模の図上訓練を実施している団体は少ない（全体の約2割）。
-
- 新総合防災情報システムを活用し、各団体で内部的に収集できる情報（例：電力会社においては停電等の情報）以外の、幅広い災害情報（例：道路情報、避難所情報など）を確認し、対応方針等を検討する訓練は、各団体における応急時の情報処理の改善に資するものと期待される。

4. 都道府県の訓練の構想及びシナリオの整理

(1) 訓練の主要対象業務の選定

- 訓練対象の業務として、過年度までに、災害対応基本共有情報（EEI）第1版の検討などで調査整理の対象としてきた「南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画（具体計画）」等において、国と都道府県等が連携して行う業務（例：物資輸送業務）等を候補としている。
- それらの業務のなかで、被災都道府県災害対策本部や国の現地対策本部等が適切に連携して応急活動を行うための活動方針を意思決定するプロセスを、次年度の実証訓練のテーマとして複数抽出している。

南海トラフ地震における 具体的な応急対策活動に関する計画



机上訓練のイメージ

訓練参加者は、仮想の災害シナリオに沿った事態推移のなかで、必要な情報を収集・整理し、意思決定を行う。

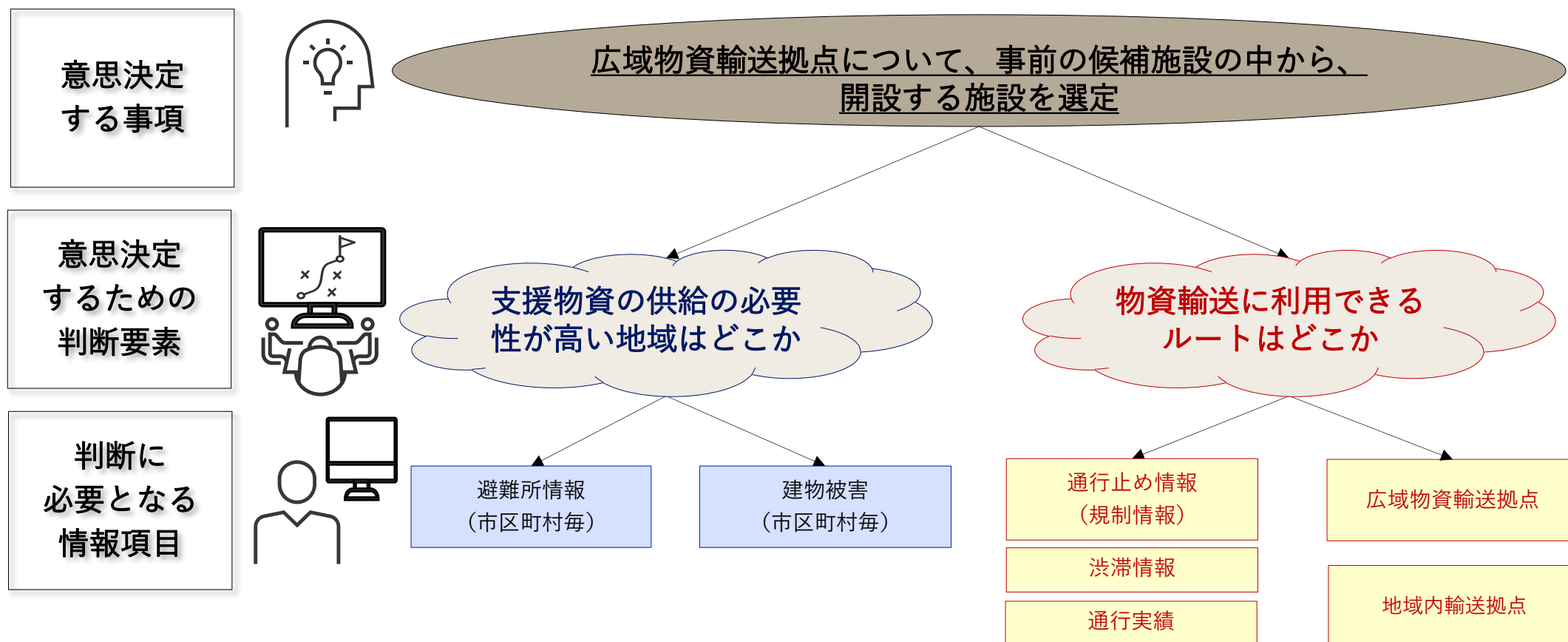


4. 都道府県の訓練の構想及びシナリオの整理

(2) 訓練のシナリオ（例）の検討

- 訓練対象とした応急業務において、意思決定すべき事項を選定し、当該意思決定のために必要となる情報項目を整理している。
- 必要となる情報項目は、災害対応基本共有情報（EEI）第1版を参照し具体的に整理している。

意思決定事項と必要となる情報項目の例 例：物資輸送業務（広域物資拠点の選定）



4. 都道府県の訓練の構想及びシナリオの整理

(2) 訓練のシナリオ（例）の検討

- 前頁までに選定・整理した、訓練対象業務における意思決定事項、及び必要となる情報項目について、災害発生からの時系列に沿った訓練シナリオの中で整理している。
- シナリオにおける、情報項目の確認のタイミングは、新総合防災情報システムでデータ収集・共有が想定されるタイミングを勘案して整理している。

訓練実証（本部運営訓練）シナリオの例 例：物資輸送業務（広域物資拠点の選定）

